浅利康裕

私がスイスで過ごした中で特に印象に残っているのは、ホームステイ先の家族と一緒にいろいろなゲームをして遊んだことです。最初は、相手の英語が聞き取れなかったり、自分が言いたいことを英語でうまく表せなかったりして、不安に感じることもありました。しかし、今回のホームステイを通して、英語が話せなくても、まずは話してみる事が大事だと思いました。間違えることを気にするよりも、知っている単語や身振りを使って伝えようとすると、相手も一生懸命理解しようとしてくれました。

ゲームをしているときも、ルールを聞いたり、分からないことを質問したりするうちに、少しずつ会話が増えていきました。みんなで笑ったり、悔しがったりしながら過ごすうちに、言葉が完璧に通じなくても、一緒に楽しむことで心が通じることを実感しました。この経験は、スイスでの一番大切な思い出の一つになりました。

また、スイスでの生活を通して、日本との教育や文化の違いにも気づきました。スイスでは、自分の考えを持ち、それを相手に伝えることが大切にされているように感じました。日本の学校では、みんなで協力して同じ目標に向かって取り組むことが多いと思います。一方、スイスでは、一人一人の考えや選択を尊重し、自分で考えて行動することを大切にしているように感じました。どちらにも良いところがあり、日本の協調性とスイスで感じた自主性の両方を身につけることが大切だと思いました。

文化の面でも、生活の仕方や家族との時間の過ごし方など、日本とは違うところがたくさんありました。しかし、その違いを「変だな」と思うのではなく、「なぜ違うのだろう」と興味を持つことで、違う文化を知る楽しさを感じることができました。

今回の経験で、私は以前よりも積極的に英語を使い、自分から人と関わってみようと思えるようになりました。英語はテストのためだけに勉強するものではなく、人と人をつなぐための大切なものだと実感しました。これからも、間違いを恐れず、まずは話してみることを大切にして、いろいろな国の人と交流していきたいです。